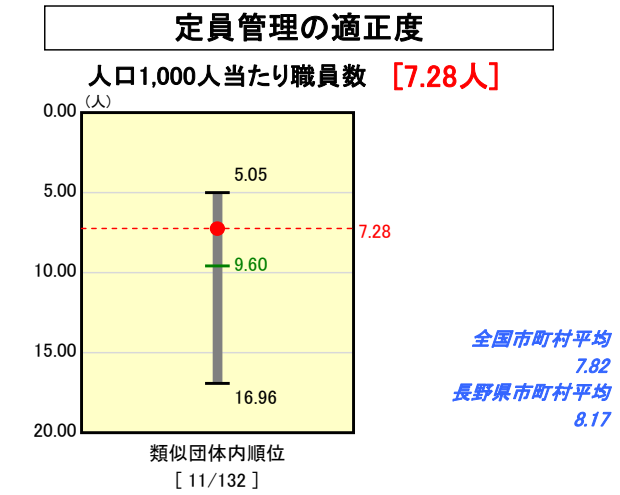
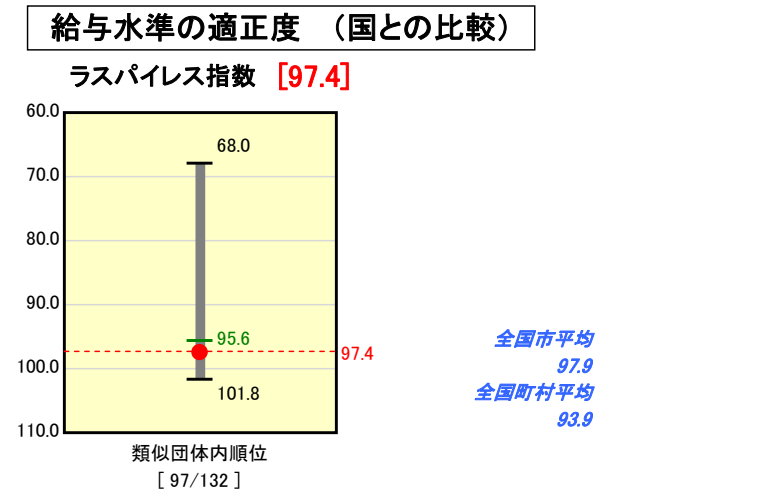
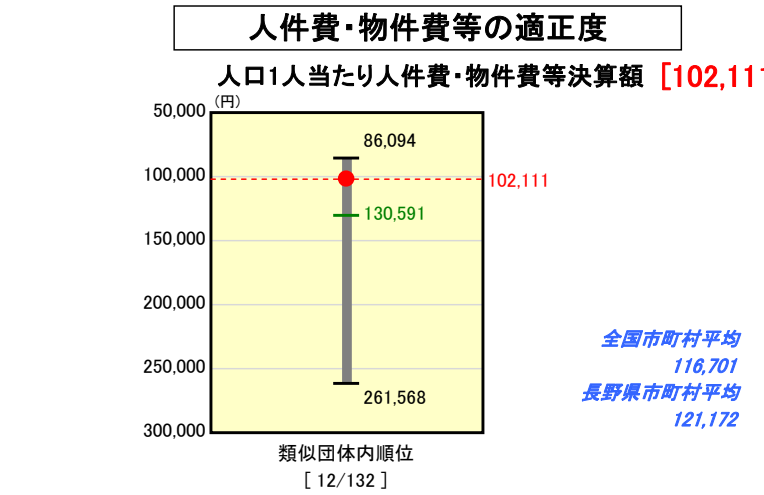
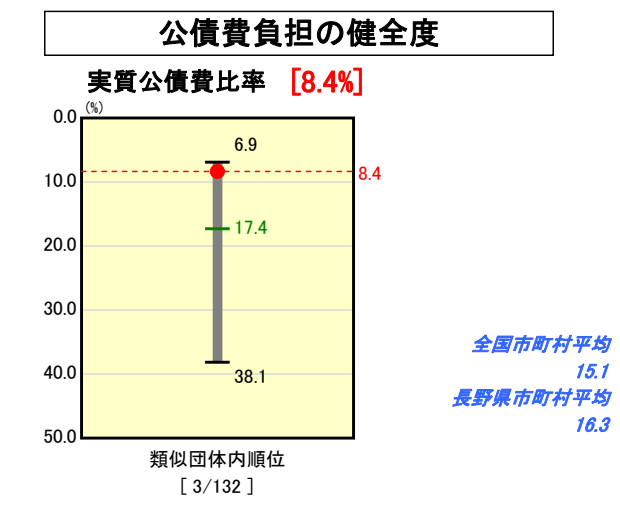
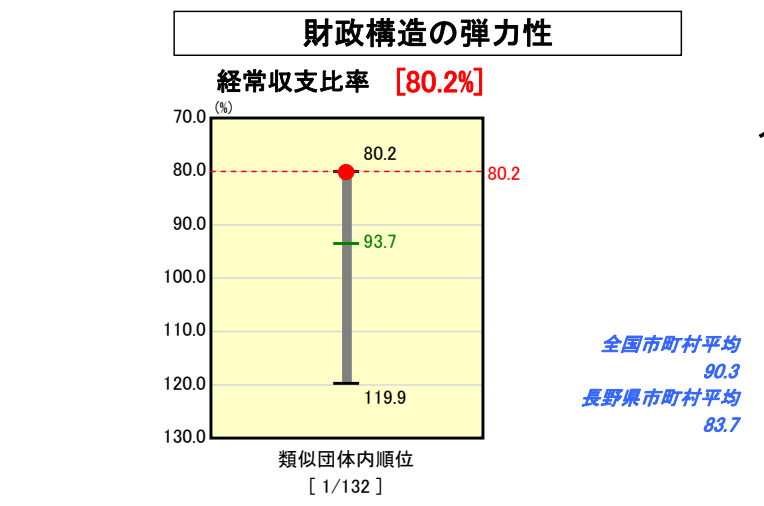
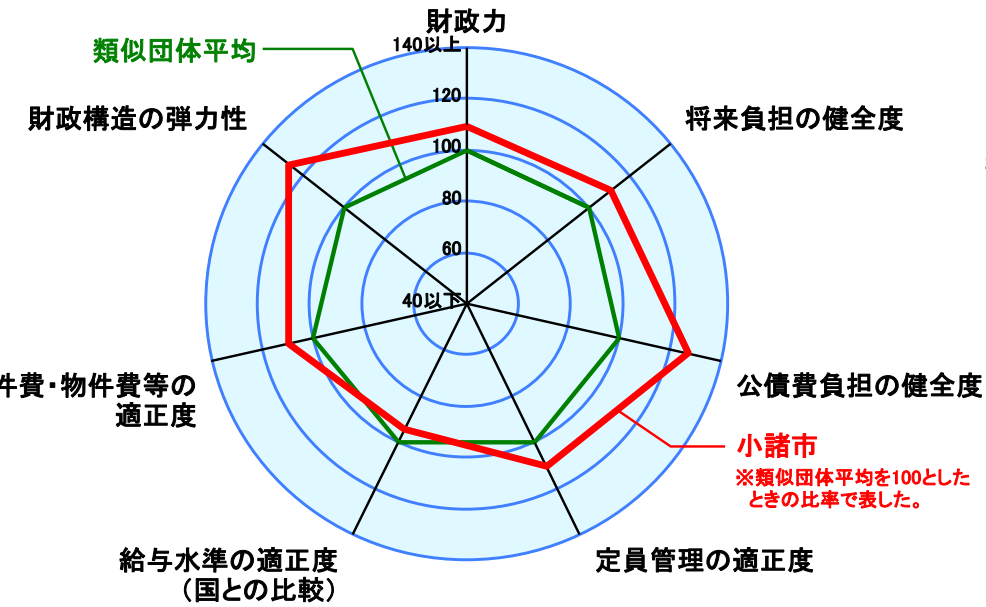
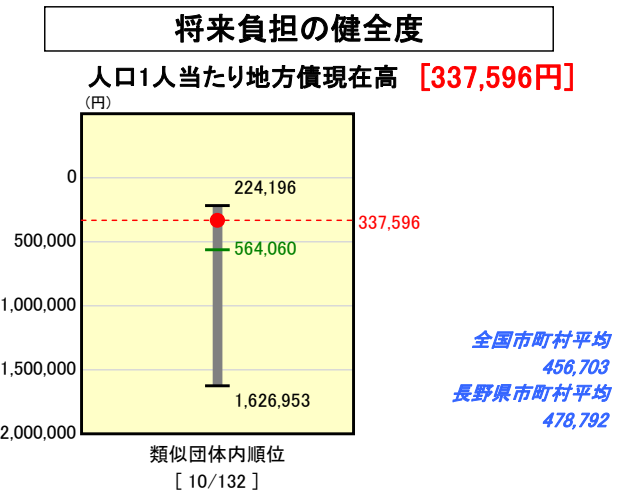
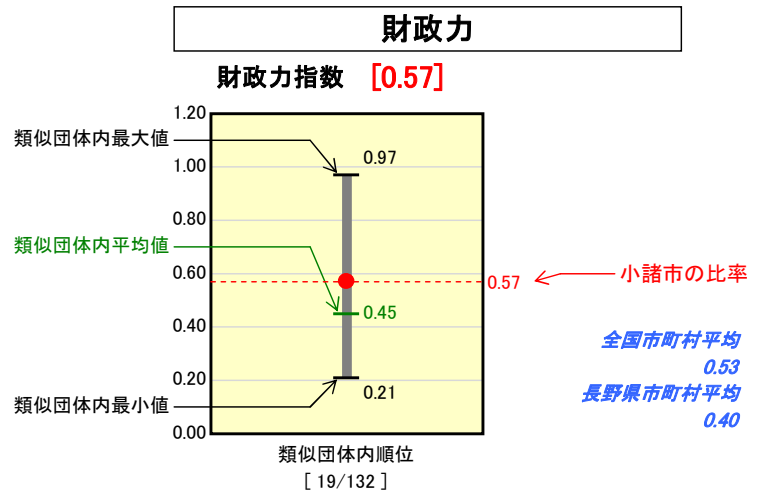


市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

長野県 小諸市

人口	44,394人	(H19.3.31現在)
面積	98.66	km ²
歳入総額	16,679,731	千円
歳出総額	16,137,047	千円
実質収支	469,631	千円



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

【財政力指数】
歳入面では、非常勤徴収員の導入や差押物件のインターネット公売など税の収納率向上に取り組んでいますが、引き続き自主財源の確保に努めます。歳出面では、行財政改革推進プログラムに沿って人件費の削減や投資的経費の抑制に取り組み、歳出削減を図ります。

【経常収支比率】
数年来取り組んできた新発債の抑制や積極的な繰上償還の実施による公債費の削減、定員適正化計画の推進による人件費の削減など、義務的経費の抑制により類似団体内では上位となっていますが、比率は上昇傾向にあります(前年度比2.9ポイント増加)。下水道事業会計繰出金や一部事務組合負担金などで今後も増加が見込まれますが、引き続き事務事業の見直しなど行財政改革を積極的に進めることで経常経費の抑制に努め、現在の水準を維持していきます。

【人口1人当たり人件費・物件費等決算額】
類似団体平均を上回っているのは、定員適正化計画による職員数の減、職員手当や非常勤特別職の報酬の見直しなどによる人件費の削減が主な要因です。今後も人件費のみならず物件費の抑制にも努めていきます。

【ラスパイレス指数】
当市の給与水準は、平成13年度のラスパイレス指数が99.8ポイントでした。平成19年度には97.4ポイントまで下がっていますが、類似団体平均より1.8ポイント高くなっています。前年と比較し差が縮まっていますが、引き続き給与水準の適正化に努めていきます。

【人口1人当たり地方債現在高】
地方債残高は年々減少傾向にあり、類似団体平均値を下回っています。今後は大型投資事業の計画があり発行額が増加する見込ですが、増加率が小さくなるよう発行額を抑制し、後世への負担が軽減するよう努めます。

【実質公債費比率】
投資事業の計画的実施により地方債の発行を抑制してきた結果、類似団体平均値を下回っています。今後予定される大型投資事業により地方債発行額は増加する見込ですが、発行額を可能な限り抑えるよう努めていきます。

【人口1,000人当たり職員数】
定員適正化計画により職員削減率は平成17年度から22年度までの5か年で4.9%としました。具体的には、目標職員数を385人としていますが、平成19年度当初には376人となり計画を上回る実績となっています。